

市議会議員

白井 なおこ

しらい・なおこ
REPORT

<http://shirai.seikatsusha.me>



生活と政治をつなぐ情報紙 生活者通信 臨時号 白井なおこ REPORT
2022.1.10 発行：東京・生活者ネットワーク 発行責任者：山内玲子
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13ASKビル4・5階
TEL03-3200-9189 FAX03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net URL <https://www.seikatsusha.me>

●日野・生活者ネットワーク白井なおこの活動を紹介します。



情報は市民の財産
いつでも市民へ説明ができる、公文書管理を！

日野市議会で一般質問に登壇する、生活者ネットワークの白井なおこ市議

公文書とは、行政が職務上作成した文書で、図面、写真、フィルム及び電磁的記録も含まれます。

公文書管理の条例は、どのような文書を作成・保存するのか基本的な考え方を示すので、その自治体の姿勢が問われます。北海道のニセコ町の条例は、市民への説明責任を果たすことを自覚して作成することが明記され、市民との信頼を大切にしています。日野市には「日野市文書管理規則」はあるものの議会のチェックは必要とされません。

一方「日野市情報公開条例」では、市民の知る権利を保障し、説明責任を果たす役割などを目的としていますが、実在しないものは公開できないので、情報公開と公文書管理は車の両輪でなければなりません。

昨今、国では文書の改ざんや破棄などによりさまざまな問題が起こっています。日野市でも一連の元副市長問題を解明する上で、あるべき文書が残っていないことが、調査から明らかになりました。将来の市民にまで説明責任を全うできる文書管理でなければ意味がないのです。

日野・生活者ネットワークは、市民の信頼を取り戻すため、また市民自治を進める一助として、公文書管理の条例制定を求めています。



政治は生活をよくする道具
白井なおこはさらなる挑戦を続けます！

白井なおこ (しらい・なおこ) プロフィール

1971年埼玉県に生まれる 72年日野市に転入 78年光塩幼稚園卒園(日野市) 84年日野市立南平小学校卒業 87年日本女子大学附属中学校卒業 90年日本女子大学附属高校卒業 94年日本女子大学人間社会学部現代社会学科卒業。卒業後、東京・福岡・京都で舞台芸術、文化事業、スポーツイベントなどの仕事に携わる 2012年滋賀県大津市に転居。滋賀県大津市男女共同参画審議会公募委員。滋賀県嘉田由紀子知事(当時)主宰の未来政治塾に第1期生として学ぶ 13年日野市に転入。生活クラブ生協に加入。まち日野三沢コミュニティを立ち上げ、活動する 14年東京都児童福祉審議会公募委員 17年日野・生活者ネットワーク政策委員 18年日野市議会議員選挙に初当選。所属：企画・総務委員会 20年～所属：議会運営委員会 環境まちづくり委員会 議会改革等特別委員会 浅川清流環境組合議会
●家族：夫 子(中学生)(旧姓 加藤) 三沢在住 ●趣味：フィギュアスケート、サルサ(ダンス)、海外ドラマ鑑賞



応援します

嘉田由紀子 参議院議員 / 前滋賀県知事 / 未来政治塾塾長

白井なおこさんは、私が「政治は未来をつくる」という信念のもと立ち上げた「未来政治塾」の一期生。市民の皆さんの思いと願いに近い政治を実現してくれるはず。一期目の日野市議会の活躍経験をいかさせてください。



大河原まさこ
皆川満寿美
浅倉むつ子
椋 大樹
海南友子
川原山浩一
柳澤典子
増田和美
落合由美
奈良由貴
堀 利和
岩永やす代
執印真智子
出沼恵美子
吉岡なつえ
古池初美

衆議院議員 / 元東京・生活者ネットワーク都議会議員 中央学院大学准教授
労働法研究者
弁護士 / 「檻の中のライオン」著者
ドキュメンタリー映画監督
NPO 法人太陽光発電所ネットワーク 東京・日野
三沢コミュニティ
生活クラブ生協東京理事長
多摩南生活クラブ生協理事長
足元から地球温暖化を考える市民ネット えどかわ代表
視覚障害者元参議院議員
東京・生活者ネットワーク都議会議員
元都議会議員
元日野市議会議員
前日野市議会議員
元日野市議会議員 / (一社) 共に働くワークスえんこらじよ代表

ヤングケアラー・ダブルケア・老々介護など 介護する人を支えるケアラー支援条例をつくる



ケアラー支援条例の提案に向けて、ヤングケアラーやダブルケア、老々介護など、介護する当事者=ケアラーに尋ねる「聞きとり調査」を実施

ケアラーとは、心や体に不調のある人の介護・看護・療育・世話・世話・気づかいなどケアが必要な家族や近親者、友人、知人などを無償でケアする人のことです。そのうち18歳未満がヤングケアラーです。

ケアラーを孤立させないよう、「ケアラー支援条例」を制定し、ケアラーも自分らしく生きられる社会をめざしていきます。

ケアラーが何でも相談でき、それを受け止める体制、支援がなければ、これからやってくる大要介護時代を乗り切ることはできません。

ケアラーが何でも相談でき、それを受け止める体制、支援がなければ、これからやってくる大要介護時代を乗り切ることはできません。

ケア中にもっとより、その後の人生に大きな影響が生じることが、やっと社会で認識されつつも、ケアラーへの支援は制度の情報すら届いていません。



遊ぶ権利を大切に。川崎市子ども夢パークを視察



殺処分ゼロ!猫シェルターを視察



女性への暴力をなくす!高幡不動駅前フラワー遊説



COP26開催に併せてストップ!地球温暖化を訴える



平和フォーラムに参加



ようやく成立!雇われ無い働き方ワークショップ学習会で

生活者ネットワークの提案で、実現!

●日野市環境基本条例の制定 ●日野市子ども条例の制定 ●日野市洪水ハザードマップ ●援農ボランティア養成講座「農の学校」 ●ドッグランの設置 ●福祉オンブズパーソン制度の導入 ●全小中学校で男女混合名簿実施 ●カワセミハウスへの再生可能エネルギー導入 ●内部通報に関する条例の制定など

日野・生活者ネットワーク 白井なおこの7つの政策

- 1. ケアする人もされる人も、誰もが安心して暮らせるように**
 - ヤングケアラーやダブルケア、老々介護など、介護する人を支えるため「ケアラー支援条例」をつくり、在宅療養を選択できる体制を拡充します
- 2. 子どもの権利が守られ、いきいき育つ環境をととのえる**
 - 子どもが相談できる救済機関「子どもオンブズパーソン制度」をつくり、学校に行かない、行かない子どもたちが安心して過ごせる第三の居場所を増やします ●産後うつや離婚にまつわる問題なども含め、保護者が何でも相談できるしくみを整えます
- 3. すべての人が自分らしく「共に」生きる社会を実現する**
 - 性による差別をなくすため、すべての施策をジェンダーの視点で見直す「ジェンダー主流化」をすすめます ●パートナーシップ条例をつくり、多様な家族のあり方を応援します ●化学物質過敏症（香害など）や電磁波過敏症への理解を深め、誰もが安心して暮らせる環境を整えます
- 4. ストップ地球温暖化! 自分から地域からはじめよう**
 - 原発に頼らない再生可能エネルギーの地産地消をすすめます ●対話から行動へ—脱プラスチックに向けて市民と学び、アクションにつなげます ●みんなの畑や田んぼ「コミュニティガーデン」を増やし、生ごみのたい肥化を広めます
- 5. 感染症や災害への対策は日常から**
 - ご当地ハザードマップづくりを通して、地域を知り、人とつながります ●コロナの状況に応じて、迅速に対応できる宿泊療養体制を整えます
- 6. 市民が主役! 市政をもっと身近に**
 - 市民と政治、社会との関わりを深めるシティズンシップ(主権者)教育を推進します ●在住外国人の意見を市政に反映する仕組みをつくります
- 7. 日野市の魅力、再発見!**
 - 日野市のいまと昔を知るご当地ツアーを開催します ●誰もがどこへでも訪れることができるよう、バリアフリーのまちづくりをすすめます

日野市議会議員
白井なおこ



●みなさまからのカンパを募っています。
日野・生活者ネットワーク
郵便振替口座 00160-7-562907